

令和2年度の重点課題

- 令和2年度は、新体カテストが実施されなかったため、体育の授業前に準備運動として行っている「吉川セブン」の実施状況を調査した。
- 「吉川セブン」の7種目のうち、4種目以上目標を達成した児童の割合は88%であった。7種目全てにおいて目標を達成した児童もいる一方、1・2種目にとどまった児童も見られ、体力差が大きいことが分かった。
- 全児童を対象にした独自のアンケート調査では、「吉川セブン」の種目のうち「登り棒」を苦手と答えた児童の割合が約41%にのぼった。

上記の課題を受けて具体的に取組んだ事項

- 登り棒に赤・青・緑のカラーテープを貼り、目標を視覚化することで、意欲的に取り組めるようにした。
- 「吉川セブン」の到達状況を種目ごとに調査することで、児童の苦手としている運動をより細かく把握した。
- 運動を苦手に感じている児童も楽しみながら運動に取り組めるよう、「ドキドキタイム」や「ロング昼休憩」に、仲間と一緒に楽しめる「ドッジボール」や「体力アップトレーニング」等の運動を行った。
- 体育の授業では、他者と比べるのではなく、自分で設定した目標や課題に向けて取り組めるよう、ワークシートを工夫したり、タブレットを活用したりした。

令和3年度新体カテストの結果(県平均値(令和元年度)・全国平均値(令和元年度)との比較)

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第5学年	13.13	24.38	36.13	46.88	62.63	8.79	167.50	23.88	59.75	第5学年	17.14	15.43	43.14	40.14	31.29	10.04	135.86	14.00	53.29

県平均値かつ全国平均値未満

令和3年度新体カテストの結果(県平均値(令和3年度)・全国平均値(令和3年度)との比較)

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第5学年	13.13	24.38	36.13	46.88	62.63	8.79	167.50	23.88	59.75	第5学年	17.14	15.43	43.14	40.14	31.29	10.04	135.86	14.00	53.29

県平均値かつ全国平均値未満

運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか

男子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い	女子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い
第5学年	87.50	12.50	0.00	0.00	第5学年	42.86	28.57	0.00	28.57

学校独自の意識調査

吉川小学校では、全児童を対象にした、運動への意識調査を実施した。右表は、「スポーツや運動、体を動かす遊びは好きですか。」という問いへの回答の状況である。

合計	58人		
とても	まあまあ	あまり	まったく
35	19	4	0
60%	33%	7%	0%

重点課題に対応した改善する取組内容及び方法

体育の授業で行う取組内容

- ・タブレットを活用し、自分の体がどのように動いているかを客観的にとらえ、児童自ら改善しながら達成感や成就感を味わうことで、運動に対する自己肯定感を高められるようにする。
- ・準備運動として継続的に行っている「吉川セブン」について、自分の目標を設定して効果的に行えるようにする。
- ・跳ぶ運動の充実のため、準備運動に「グリコジャンケン」、「ジャンピングスクワット」を取り入れる。

体育の授業以外で行う取組内容

- ・朝の時間(ドキドキタイム)で、「吉川マラソン(持久走)」、「縄跳び」、「鬼遊び」、「コーディネーショントレーニング」等を実施し、運動を楽しみながら体力をつけられるようにする。
- ・月2回程度「ロング昼休憩」を実施し、運動が苦手な児童も充分体を動かして遊ぶ機会を設ける。
- ・長期休業を利用し、家庭でできる筋力トレーニングや柔軟運動を紹介し、取り組めるようにする。
- ・全児童を対象とした意識調査を実施する。

重点課題

- 第5学年男子
  - ・「握力」において、県平均値かつ全国平均値より低い。
- 第5学年女子
  - ・「上体起こし」、「20mシャトルラン」、「50m走」、「立ち幅とび」において、県平均値かつ全国平均値より低い。
  - ・アンケート調査において、「運動やスポーツをすることが嫌い」と答えた児童の割合が約29%である。

令和4年度の重点目標値

- 運動やスポーツをすることが嫌いと答える児童の割合を0%にする。
- 「上体起こし」、「20mシャトルラン」、「50m走」、「立ち幅とび」について、前回の学年平均値を上回るようにする。